

倉本聰の名作『悲別』が10年ぶりに復活！ 全国からオーディションで選ばれた出演者とともに いよいよ富良野GROUPが再始動！

2010年に富良野塾が開塾して早14年。卒業して富良野に残ったOBも、既に40、50という歳になった。気づけば僕自身も、初めて出合った頃の師匠と同じ年齢になっている。この間、僕は富良野GROUPとして、師匠とともに10本もの作品を創り上げてきた。これらの作品をどう継承し、次の世代に渡していくのか。

その想いのもと、今回新たにキャストオーディションを実施。富良野GROUP再始動の第一弾として『悲別2023』に挑む。令和の時代に頼れるものは何なのか。富良野塾・倉本イズムを受け継いでくれるであろう若者たちと共に、僕自身もその答えを見つけていきたい。

久保 隆徳



作・監督
倉本 聰



演出
久保 隆徳
(富良野塾11期生)

●出演

【富良野GROUP】

熊耳宏之	水津聡	芳野史明	かないしゆう	竹内裕介	藤本道	末広透
森上千絵	栗栖綾濃	伊藤壮太郎	竹原圭一	菅野恵	小野洋子	
【オーディション合格者】						
岸本裕太	藤本悟	吉田東吾	両角周	岩田玲	高井与	高野征惟
杉江優篤	松尾潤	笠野龍男	大橋薫乃	川瀬知佐子	高塚日和	優美早紀
黒永明日香	松岡なえ	犬吠崎にやん	小林可奈	荻谷和暉子		

●スタッフ

舞台監督：東誠一郎 舞台進行：かないしゆう 藤本道 末広透
照明：広瀬利勝 渡辺茅花 手塚日南人 音響：三浦淳一 美術制作：高木誠
プロデューサー：谷山一也 制作チーフ：太田竜介 企画進行：樋口一樹
市民協力隊：谷山千代 黒木健太郎 アドバイザー：九澤靖彦

富良野GROUPとは
倉本聰が主宰する“富良野塾”を卒業し、研鑽を重ねた俳優とライター集団。
原型となった“富良野塾”は、プロの脚本家と役者を養成するべく富良野の山間に倉本が開塾した私塾で、塾生は自然と共生しながら2年間の合宿生活を過ごし、“創作”に対する多くのことを学んだ。26年間で375名の卒業生を輩出。卒業生の多くは現在も舞台や映像の現場などで良質な仕事に携わっている。
2010年春、富良野塾は閉塾したが、現在は表現者のプロ集団としてさらなる高みを目指し、日々精進している。今後は外部からも志の高い俳優やスタッフを迎え、創作意欲を益々高め合うことを目指している。

●あらすじ

閉山が決まった炭坑の町、悲別（かなしべつ）。

未来を奪われた若者たちは、30年後の2023年大晦日、ここに集まろうと約束する。彼らの交わした約束とは、大昔、この炭坑の第一坑道の地下三百メートルの地底に先人たちが埋めたという『希望』を封印したタイムカプセルを、探しに潜ろうということ。彼らは再会を信じ、一人、また一人と悲別から去っていった。

30年後。すっかり変わり果て死んだようになっただけ。長い歳月は若者たちを変えてしまっている。福島の原発労働者となった者、懸命にふるさとにしがみつき空しい町おこしに励む者、そして、原発汚染の福島の瓦礫を引き受け、廃坑の地下に石棺に入れて閉じ込めようとして策している者。300メートルの地下に希望があり、さらにその地底の奥底に、今絶望を埋めようとしている悲別。

大晦日、約束を守った二人と、情報を聞きつけ取材に来た新聞記者。それぞれの思惑を胸に、3人は立入禁止となっている旧坑道に『希望』という名のタイムカプセルを探し求め、地底へと入り込んで行く…。

■会場 富良野演劇工場（北海道富良野市中御料）

■公演日程 全席自由 ※開場は開演の30分前

12/8		9	10	11	12	13	14	15	16	17
(金)		(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
14:00	+	+	●	+	+	+	+	+	+	+
19:00	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

■入場料《各・税込》

一般 5,000円（当日券 5,500円）
演劇工房会員 4,000円 ※会員募集中！
シニア 4,500円（65歳以上）
小中高生 2,000円
サポーターチケット 4,000円（10名様以上）
※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。（親子室あり/要予約）

■チケット発売所・ご予約・お問合せ

富良野演劇工場 Tel.0167-39-0333

予約専用アドレス furanoengeki.489@gmail.com

日時、人数（会員・シニア・小中高生の有無）、代表者氏名、住所、電話番号をご記入ください。

メール予約
QRコード

